

## 学習指導プラン

## 小学校図画工作科第5学年

## 題材名 のぞいてみると、〇〇な世界



## 内容のまとめ

〔第5学年及び第6学年〕「絵や立体、工作」「鑑賞」

「A表現」(1)イ (2)イ 「B鑑賞」(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ

## 1 本題材で扱う学習指導要領の内容

〔第5学年及び第6学年〕

## A表現

- (1)イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。
- (2)イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

## B鑑賞

- (1)ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を深めること。

〔共通事項〕

- (1)ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。  
イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

## 2 題材の目標

- (1)・箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解する。  
・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。
- (2)・光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の質感や特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。  
・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。  
・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。
- (3)・主体的に光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

## 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解している。</li> <li>・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の質感や特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</li> <li>・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</li> </ul>	<p>つくりだす喜びを味わい光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

## 4 材料と用具

- (1) 材料…箱、色セロハン紙、紙粘土、アルミホイル、針金、折り紙、お花紙、輪ゴム、毛糸、わた、たこ糸、段ボール、ストロー、割りばし、つまようじ など
- (2) 用具…段ボールカッター、カッターナイフ、はさみ、きり、のり、木工用接着剤、グルーガン、絵の具、カラーペン、クレヨン、パス、カッターマット など

5 指導と評価の計画（全4時間）

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等				備考
		知	技	思	態	
		知識	技能	発想や構想	鑑賞	
1	・箱に穴を開けて、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。	○ 観察 対話		○ 観察 対話 ワーク シート		第1時は、記録に残す評価はしないが、「知識」と「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。  第2・3時を通して、「知識」、「技能」、「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。  第4時は「思考・判断・表現（鑑賞）」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。また、「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。
2	・光が差し込む箱の中をのぞいて感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。 ・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	◎ 観察 対話 作品	○ 観察 対話 作品	◎ 観察 対話 作品 作品 カード		
3			◎ 観察 対話 作品			
4	・自分たちの作品を見合い、よさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。			◎ 観察 対話 ワーク シート	◎ 観察 対話 作品 ワークシート	

○…題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎…題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

6 第1時について

(1) 第1時の目標

- ・箱に穴を開けて、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。

(2) 第1時の展開

過程	学習活動 [ ] 児童の反応	・指導上の留意点
導入	<p>1 材料と出会い、学習の見通しをもつ。</p> <p>○穴が1つだと真っ暗だ。</p> <p>○光が差し込んでいてきれい。</p> <p>○洞窟みたい。</p> <p>○穴の数が違うと、箱の中の見え方も違うのかな。</p> <p>○光が差し込む世界をつくらしてみたいな。</p>	<p>・穴を1つ開けた箱と、複数開けた箱を提示する。箱の中をのぞいたときの見え方や感じ方に対する児童のつぶやきを全体に紹介することで、穴を複数開けた箱の中の、光の広がりや形に児童が気付くことができるようにする。</p> <p>・児童の活動への意欲を引き出した上でめあてを提示する。</p>
<p>めあて 光が差し込む箱の中に、どのような世界をつくりたいか考えよう。</p>		<p>・題材全体の進め方を示すことで、児童が学習の見通しをもつことができるようにする。</p>
展開	<p>2 箱に穴を開けて、光が差し込む箱の中をのぞきながら、感じたことや想像したことを基に試しにつくりながら主題を見付ける。</p> <p>○小さな穴をいくつも開けるとどのように見えるのかな。</p> <p>○のぞく穴の大きさと場所を決めよう。</p> <p>○色セロハン紙を貼ると、色が付いた光になった。</p> <p>○ヒントをもらうために、友人の様子を見に行こう。</p> <p>○夜の○○町をイメージしよう。</p> <p>3 主題をどのように表すかについて考える。</p>	<p>・活動前に用具の正しい使い方を全体で確認し、必要に応じて教師が補助をすることで、安全に学習活動を進めることができるようにする。</p> <p>・表現方法を限定せず、試作する時間を設定することで、児童が自分なりの感じ方や発想を整理し、表現の手掛かりを得ることができるようにする。</p> <p>・穴を開ける場所や形、光を当てる角度や強さを変えたり、色セロハン紙を重ねたりすることを試すよう促すことで、光が差し込む箱の中の造形的な特徴を理解することができるようにする。また、対話や観察を通して児童の造形的な気付きを見取り、適宜支援を行う。</p> <p>・児童が感じたことや想像したことを、グループや全体で共有する場を必要に応じて設けることで、人によって感じ方や発想が異なることの面白さを感じたり、主題を表すときの発想を広げたりすることができるようにする。</p> <p>・様々な材料と用具を準備し、紹介することで、児童が主題をどのように表すかについて考えることができるようにする。</p> <p>・主題について児童と対話したり、友人の活動を見に行くよう促したりすることで、主題をどのように表すかについて考えることができるようにする。</p>

	<p>○星や惑星をつくって糸で吊るすと、下からのぞいたときに宇宙のように見えそうだな。</p> <p>○スズランテープで海の感じを表したいな。</p> <p>○アイドルにスポットライトが当たっているステージをつくりたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い付いたことをワークシートに絵や言葉で表してもよいことを伝える。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>4 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <p>○海の中の世界をつくりたい。</p> <p>○箱をのぞくと雲の上にいるような感じがした。次の時間は、わたを使って雲をつくりたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時の振り返りを記入するように伝えることで、活動の内容や進捗を見直し、次時に取り組みたいことを考えるなど、自ら学習を調整できるようにする。</li> <li>・必要な材料や用具をワークシートに書くよう伝えることで、次時の造形活動への意欲を高めることができるようにする。</li> <li>・ワークシートにイメージ図を描いたり、1人1台端末を活用して作品を写真や動画に記録したりしてもよいことを伝えることで、児童が次時の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>

7 第2・3時について

(1) 第2・3時の目標

- ・光が差し込む箱の中をのぞいて感じたことや想像したことから、表したいことを見付けどのように主題を表すかについて考える。
- ・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

(2) 第2・3時の展開

過程	学習活動 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">児童の反応</span>	・指導上の留意点 □評価規準【評価方法】
導入	1 前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述や、前時でつくった作品を見返す時間をとることで、どのように主題を表すか児童が確認し、活動への意欲を高めることができるようにする。</li> <li>・作品をつくる際に意識する視点となる造形的な特徴を全体で共有することで、児童が学習の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         めあて 自分が表したい箱の中の世界を、材料や方法を工夫してつくろう。                     </div>
展開	2 前時で考えたことを基に、主題をどのように表したいのかを考えながら、表し方を工夫して表す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ○自分だけの秘密基地をつくらう。                          ○洞窟の中の岩を紙粘土でつくって、大きい岩を手前に置くことで奥行きを出そう。                          ○箱の中を青や水色の絵の具で塗って、海の中の世界を表そう。                          ○雲の上の世界を、わたを使って表そう。                          ○部屋の中にどのようなものをつくらうかな。友人にアドバイスをもらおう。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な材料と用具を準備することで、児童が主題を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>・制作の途中で実際に作品に光を当てて鑑賞するように促すことで、児童が形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を意識し、それらを表現活動に生かすことができるようにする。</li> <li>・用具の正しい使い方を指導し、必要に応じて教師が補助をすることで、安全に学習活動を進めることができるようにする。</li> <li>・主題のイメージを児童に尋ね、材料の質感や特徴を確認しながら一緒に試作したり、友人の作品を見に行くことを伝えたりすることで、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>・制作の途中で児童同士が作品を見合い、つくりながら考えたことや工夫について意見を交流するように提案することで、その気づきや学びをその後の表現の工夫に生かすことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>思・判・表（発想や構想）</b>                          形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 【観察、対話、作品、作品カード】                     </div>

		<p><b>知識</b> 箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解している。 【観察、対話、作品】</p> <p><b>技能</b> 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【観察、対話、作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品が完成した児童には、1人1台端末を活用して作品を写真や動画に記録してもよいことを伝える。</li> </ul>
<p><b>終末</b></p>	<p>3 作品カードに工夫したところをまとめる。</p> <p>4 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくっていて気付いたこと</li> <li>難しかったが頑張ったこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品カードに主題を表すために工夫したところを書くことで、自分の作品のよさを振り返ったり、次時の鑑賞活動への意欲を高めたりすることができるようにする。</li> <li>ワークシートに本時の振り返りを記入するように伝える。</li> </ul>

(3) 第2・3時の評価規準と判定基準

観点	第2・3時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
知識	<p>○箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解している。</p> <p>【観察、対話、作品】</p>	<p>・「おおむね満足できる」状況【B】 光が差し込む箱の中に表したい主題のイメージに合わせて、材料や用具を選んでいる。</p> <p>・「努力を要する」状況【C】と判断される児童への指導の手立て 光が差し込む箱の中の造形的な特徴を理解することができるように、穴を開ける場所や光を当てる角度や強さを変えたり、色セロハン紙を重ねたりすることを通して、光と形の実感を実感できるようにする。また、材料に触れたり比べたりするよう促すなどの支援を行うことで、材料の質感や特徴に気付くことができるようにする。</p>
技能	<p>○表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p> <p>【観察、対話、作品】</p>	<p>・「おおむね満足できる」状況【B】 表したい主題に応じた材料や用具を選んで活用するとともに、前学年までに使用してきた材料や用具などについての経験や技能を生かしたり組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p> <p>・「努力を要する」状況【C】と判断される児童への指導の手立て 表したい主題のイメージを尋ね、材料の質感や特徴を確認しながら一緒につくったり、友人の作品を見に行くよう伝えたりすることで、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができるようにする。</p>
思・判・表（発想や構想）	<p>○形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の質感や特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>【観察、対話、作品、作品カード】</p>	<p>・「おおむね満足できる」状況【B】 光が差し込む箱をのぞいて想像したことから、表したい主題を見付け、どのように表すかについて考え、形や色、奥行き、動き、光などの特徴を生かして主題を形にし、作品に表している。</p> <p>・「努力を要する」状況【C】と判断される児童への指導の手立て 主題について児童と対話し、一緒に試作したり、友人の表現を参考に促したりすることで、主題をどのように表すかについて考えることができるようにする。</p>

## 8 第4時について

### (1) 第4時の目標

- ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

### (2) 第4時の展開

過程	学習活動	児童の反応	・指導上の留意点 □評価規準【評価方法】
導入	1 前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞をする際の視点となる造形的な特徴を全体で共有することで、児童が学習の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">めあて 友達の作品のよいところや工夫しているところを見付けて伝えよう。</div>		
展開	2 作品を紹介し、鑑賞し合う。 <b>【グループ活動（3～4人）】</b> ① 作品を紹介し合う。 ② 鑑賞し、友人の作品のよいところやすてきだと感じるところなどの気付きを付箋に書く。 ③ 気付きを伝えながら、付箋を渡す。 <b>【全体】</b> ① 作品を鑑賞する。 ② 気付きを付箋に書き、友人のワークシートに貼る。 ○洞窟の中の生き物の大きさや場所の工夫から、奥まで続いているように感じる。 ○海の中の○○に光が当たって、主人公らしさが伝わるね。 ○穴の大きさがいろいろあって、差し込む光の違いがいいね。 ○雲を、柔らかくて白いわたで表現している。木工用ボンドでくっつけているところも工夫しているね。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで作品を鑑賞する時間を十分に確保することで、互いの作品のよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ることができるようにする。</li> <li>・作品カードに記した主題や工夫した点を基に自分の作品を紹介する際には、1人1台端末で記録している写真や動画を見せて紹介してもよいことを伝える。</li> <li>・付箋に気付きを書く際に、友人の作品カードを確認するよう伝えることで、友人の表現の意図に気付き、造形的な特徴を基にした作品のよさや美しさについて感じ取ることができるようにする。</li> <li>・友人の作品のよさについて明確に言葉で表現することが難しい児童には、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴や、表現の意図や特徴、表し方の変化などの表現方法といった鑑賞する際の具体的な視点を提示する。</li> <li>・グループで鑑賞を行ったあとに、学級全体で鑑賞を行う。</li> </ul>
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">思・判・表（鑑賞）</div> 形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 <div style="text-align: right;">【観察、対話、ワークシート】</div>
終末	3 題材全体を振り返る。 ・鑑賞の活動を通して考えたこと ・友人の言葉で嬉しかったこと ・今後の学習で楽しみなことや頑張りたいこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の鑑賞の活動を通して感じたことや考えたこと、題材全体の振り返りなどをワークシートに記入するように伝える。</li> <li>・児童数名の振り返りを取り上げて価値付けることで、今後の造形活動への意欲付けを図る。</li> </ul>

(3) 第4時の評価規準と判定基準

観点	第4時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
思・判・表（鑑賞）	<p>○形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>【観察、対話、ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおむね満足できる」状況【B】 友人の作品の紹介を聞いたり、作品を鑑賞したりすることで、表したい主題に適した表現方法の工夫を見付けたり、造形的なよさや美しさを伝えたりして、見方や感じ方を深めている。</li> <li>・「努力を要する」状況【C】と判断される児童への指導の手立て 友人の作品の作品カードを確認するよう伝えることで、造形的な特徴を基にした作品のよさや美しさについて感じ取ることができるようにする。 造形的な特徴については形や色、奥行き、光など、表現方法については表現の意図や特徴、表し方の変化といった、鑑賞する際の具体的な視点を提示する。</li> </ul>

9 題材における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準と判定基準

観点	題材全体を通した評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
態度	<p>○つくりだす喜びを味わい光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察、対話、作品、ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおむね満足できる」状況【B】 箱に穴を開け、光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul> <div data-bbox="815 1205 1447 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>具体的な児童の姿の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱に差し込む光に注目して主題を考えたり、材料選びを工夫したりして作品づくりを楽しんでいる。</li> <li>・思い付いた表現方法を試したり改善したりしている。</li> <li>・友人の作品に興味をもち、進んで表現の意図を考えようとしたり、よさを見付けようとしたりしている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「努力を要する」状況【C】と判断される児童への指導の手立て 試作品や提示した箱を見るよう促したり、対話を通してイメージを引き出したりすることで、少しずつ学習活動に取り組むことができるようにする（第1～3時）。 友人の作品を一緒に見ながら「どこに注目したか」「どのような工夫を見付けたか」と問い掛けることで、感じたことを言葉にするための支援を行い、鑑賞の楽しさや見方や感じ方の深まりに気付くことができるようにする（第4時）。</li> </ul>